

## 第7回気候変動勉強会を開催

一般社団法人日本損害保険協会（会長：新納 啓介）は、12月15日（金）、損保会館で第7回気候変動勉強会を開催しました。

損保協会では、2021年7月に策定した気候変動対応方針に沿ったカーボンニュートラル実現取組みを業界一丸となって進める中、気候変動やサステナビリティ関連に関する知識向上および会員各社の取組みの一段のレベルアップを図ることを目的に、これまでに計6回の勉強会を開催してきました。

第7回気候変動勉強会は「気候変動問題のさらなる理解・浸透のために」をテーマとし、社員への周知方法、理解・浸透させるための工夫や、活動に巻き込んでいくための取組みについて、会員会社の実務担当者から事例を紹介いただくとともに、参加者とのディスカッションを開催しました。

開催に際し、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の鈴木経営調査室長から、「各社の取組みのさらなる推進を目的に、今回のテーマにて勉強会を開催することとした。事例紹介、ディスカッションを通じ、業界としての知見を高めてまいりたい。」と挨拶がありました。

続いて、取組みが先行する会員会社の実務担当者（パネリスト）から、事例について紹介がありました。参加者とのディスカッションでは個社の事情を踏まえた質問が多数寄せられ、活発に意見交換が行われました。

今後も損保協会では国および国際社会の取組みと協調を図りつつ、業界一丸となって気候変動・サステナビリティの取組みを推進してまいります。



参加者 : 33名

パネリスト：宮崎 健太郎氏（あいおいニッセイ同和）

田中 絢子氏（損保ジャパン）

太治 尊雅氏（東京海上HD）

関口 洋平氏（三井住友海上）

以上